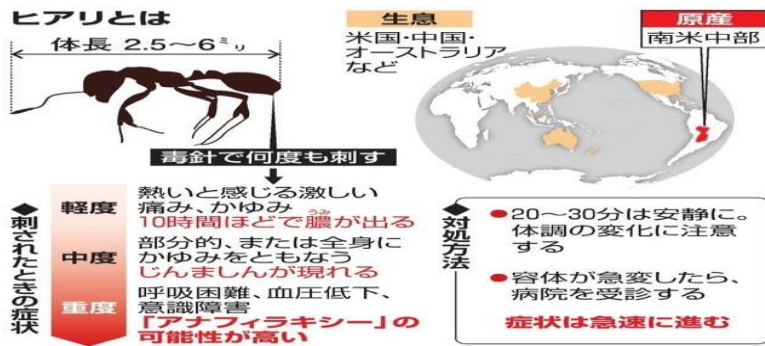




## 特定外来生物ヒアリ(火蟻)に注意してください!

報道にもありますように、環境省が6月18日、強い毒を持つ外来種のアリ『ヒアリ』をポーアイキャンパスがあるポートアイランドの東側コンテナヤードで見つかったと発表しました。『ヒアリ』は赤茶色で体長2・5～6ミリ。人が刺されるとやけどのような激痛が走るそうです。毒針で何度も刺すほど攻撃性が高く、かゆみや動悸(どうき)などが引き起こされ、アナフィラキシーショックによる死亡例もあるといえます。注意が必要です。



〈朝日新聞 6月18日版より引用〉

ヒアリもしくは似たアリを発見した場合は、触らず下記までご連絡してください。

(学内) KPC 総務事務 078-974-4090  
中央監視室 078-974-4635  
(学内) KAC 総務事務 078-974-1805  
北門警備室 078-974-1555  
(学外) 神戸市危機管理室 078-322-6482

### 〈刺された場合の症状〉

#### 【軽度】刺された部位の痛みやかゆみ

刺された瞬間は熱いと感じるような、激しい痛みが走ります。やがて、刺された痕が痒くなります。10時間ほど経つと膿ができます。

#### 【中度】じんましん

刺されて数分から数十分後には刺された部分を中心に腫れが広がり、部分的、または全身的に痒みを伴う発疹(じんましん)が現れることがあります。

#### 【重度】呼吸困難・血圧低下・意識障害

刺されてから数分から数十分の間に息苦しさ、声がれ、激しい動悸やめまいなどを起こすことがあります。進行すると意識を失うことがあります。これらの症状が出た場合には重度の即時型の可能性が高く、アレルギー反応「アナフィラキシー」で処置が遅れると生命の危険も伴います。

ご相談は、各キャンパス医務室へ

KPC 医務室 078-974-4642 KAC 医務室 078-974-5467

### 〈自分でできる予防策について〉

現時点では、通常の虫除け対策で構いません。草や土があるところに立ち入る際には、シューズに長ズボンなど虫の侵入を予防するよう対策が有効です。

(特に、裸足や素足にサンダル履きなどは危険です)見慣れないアリなので、目視では『ヒアリ』と判断が難しい場合があります。草むらや茂み、昆虫が多いところなどになるべく立ち入らないようにしましょう。

### 〈対処について〉

#### ○刺された直後の対処

20～30分程度は安静にし、体調の変化がないか注意しましょう。軽度の症状のみであり症状が悪化する様子がなければ、ゆっくりと病院を受診しても大丈夫です。

#### ○容体が急変したとき

症状は急速に進むので、現在地から一番近い病院を受診します。(救急の受け入れがある病院があればなお良い)。

「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーの可能性が高いこと」を伝え、すぐに治療してもらいます。

#### ○もしもの場合に備えて

特に、アナフィラキシーの危険がある方は、前もって医師に相談し「エピペン」を用意しておくなどの対応は有効です。重度の症状出初めに使用すると効果的です。

★ヒアリの毒には、ハチ毒との共通成分があり、ハチに刺されたことがある人は注意が必要です!